

## 第4回 嘉麻市行政経営推進審議会 会議録

1. 審議会等の名称 令和2年度 第4回嘉麻市行政経営推進審議会
2. 開催日時 令和2年11月6日（金）14：00～16：04
3. 開催場所 嘉麻市役所本庁舎4階 防災対策室
4. 公開又は非公開の別 公開
5. 非公開の理由（会議を非公開とした場合のみ）

### 6. 出席者

#### (1) 委員

美谷薫委員、吉岡滋樹委員、澤村健治郎委員、吉安勝行委員、三船國弘委員、大森成順委員、上野美智子委員、永富靖人委員、松田クニ子委員、大里理子委員

\*欠席委員 西森章雄委員、野見山桂子委員

#### (2) 執行機関

企画財政課長 大村輝生、企画財政課長補佐 田中ひふみ、財政係長 野見山泰秀、行政改革推進係 和多美幸

7. 傍聴人数（会議を公開した場合のみ） 0人

### 8. 議題及び審議の内容

#### 【議題】

#### (1) 答申書案について

#### (2) その他

#### 【審議の内容】

#### (1) 答申書案について

答申書（案）についての説明を行った。（事務局）

説明を受け、次のような質問及び意見が出た。（委員）

・国民健康保険事業特別会計と介護保険事業特別会計の経営健全化の項目について、こういう事業は、例えば、市民がより健康になって病院にかからなければ医療費がかからなくなるというような視点で、成果を見るには、もっと広い視点で見る必要があるのではないか。

・水道事業会計の経営健全化の項目については、有収率がなかなか上がらないのは、水道管の老朽化などにより漏水が多くなっているからではないかという考えで、計画の取組内容に漏水調査の徹底と書かれてあるが、受益と負担の関係や全国的にも問題になっている水道インフラの在り方などもっと広い視点で考えるべきである。計画には収まらないが、安定給水の確保策をきちんと検討していただきたい。

・使用料の見直しの項目について、遅延の理由に「できなかった」と記載されているが、できなかった理由をきちんと記載するべきである。

・ふるさと応援寄付金制度利用者の拡大の項目について、遅延の理由に「できなかった」と記載されているが、できなかった理由をきちんと記載するべきである。

・タブレット活用による経費の削減の項目について、ペーパーレスの取組は、行政では現在かなり重要であり、嘉麻市の取組は進んでいる印象は持っているが、情報公開等の側面では問題が生じたりしていないのか。電磁媒体での情報公開は、非常に難しくあまり進んでいない。

→現在のところ、情報公開で問題が生じているということはないが、完全にペーパーレスになっているわけではないので、非効率な点もある。その点は、年次的に職員にタブレットを配布しているので、全職員に行き渡った時点で解消されると考えている。

・PPPによる新たな公共サービスの提供の項目について、取組内容に活用できる事例の検討を行ったと記載されているが、次の計画に盛り込めるような検討は行ったのか。

→特に活用できる事例がなかった。新庁舎建設の関係で、旧庁舎の利活用を検討するにあたり、PPPやPFIなどが活用できないかと考えたが、具体化には至らなかった。次の計画にも、具体策を盛り込むような案件はない。

・ケーブルテレビ事業の民営化の項目について、事業譲渡をしたということだが、この項目は完了しているのではないのか。

→完了している項目ということでよいと考える。

・学童保育業務の民間等への委託の項目について、遅延の理由として、学童保育で待機児童が出たため対応していると記載されているが、民間委託の検討とは関係のないことではないか。

・学童保育業務の民間等への委託が遅延している理由は何か。

→学童保育所では、現在待機児童の問題が出てきている。その原因として、施設の規模が小さいということがある。こういう状況で民間委託すると、待機児童がかなり増加する可能性があるため、小中一体型校の整備に合わせて、学童保育所も整備し、現在の待機児童数などを踏まえた規模とし、民間委託する予定である。

・美術館等管理運営業務の指定管理者の導入の項目についても、遅延の理由として記載されている内容が、理由になっていない。

・嘉穂ふるさと交流館の廃止の項目について、遅延の理由として、公共施設の見直しが流動的であるためと記載されているが、いつ崩れるか分からない施設を使い続けることは問題になるのではないのか。

・長時間時間外勤務労働の削減（ワークライフバランスの推進）の項目について、行われている仕事が、やるべき仕事であるかどうかの検討がきちんとされた上で組織内での連携を検討するべきである。また、単純な時間外手当額の増減だけで、取組内容を評価するべきではないと思う。

・職員の業務の棚卸は行っているのか。

→行っていない。第4次行革実施計画には、民間委託の項目が多く、委託を行う前提として、必然と業務の棚卸を行う必要が出てくると考えている。

・地域コミュニティの活性化の項目について、取組内容に記載されている内容が取組内容を記載したものではない。具体的に何をしたのかを記載するべきである。

・実施状況に関する記載は、それぞれの項目の平成 31 年度取組内容の振り返りとなるべきであるが、ただ項目を埋めただけできちんとした振り返りになっていないように思える。

・計画に「継続実施」と記載されているが、どういうことか。  
→直前の取組内容に記載している内容を、継続して実施するという意味である。

・ケーブルテレビ事業については、事業者に補助金を出しているのではないか。  
→事業者ではなく、利用者である市民を補助するものである。

・クラウドファンディングについて、特定の目的を設定し、その目的を達成するための寄附を募る制度と記載されているが、どういうことか。  
→目的を持って取組を行うにあたり、目的を達成するために必要な金額を示して、期限を区切って、その目的に賛同する人たちからの寄附を募る制度である。

・市としては、どういうことをクラウドファンディングでやろうとしているのか。  
→どの分野で何を活用して行うのかということを検討している段階である。

・具体的な想定があってクラウドファンディングの導入という取組内容を設定したわけではないのか。  
→寄附金を増加させる可能性の一つとして、検討されたものである。

・クラウドファンディングについて、市外の人にはふるさと納税を行ったほうがメリットがあると思うので、クラウドファンディングは、ふるさと納税とは別で検討したほうがよいのではないか。

・マスコットキャラクターかまししちゃん事業の業務委託・譲渡の項目について、答申書案には「より経済効果が上がるような事業となるよう」と記載されているが、そのような話ではなく、市が委託する理由を明確にして、スピード感を持って取り組んで欲しいということだったはずである。

・前回の審議会で、意見として、移住・定住の窓口を一本化して欲しいという意見を出していたと思う。  
→答申案を修正し、ご意見として記載する。

・個別意見として答申されたものについては、その後進捗管理とかしているのか。  
→答申の翌年度の審議会にて、進捗状況について報告している。

・市バス運行管理事業の審議会意見で、「属性」という言葉が分かりづらいのではないか。  
→「年齢や性別」に修正する。

・答申書の中で「強く求めます」という表現が多く、もう少し優しい言葉で記載してもらいたい。

・いろいろな仕組みを整えて、取り組まれているが、その仕組みがきちんと活かされていないように思える。マネジメントの意識を、取組の中で繰り返し持って欲しい。

・行政改革は、人や仕事を減らしたり、民間に委託したりということに直結してしまうが、改革というのはそういうことではなく、課題を解決していくためのものだと思う。人口減少時代になってきて、地方圏をどういうふうに活かしていくかということが問題になっているが、行政に限らずもっと公の役割を大事にする時期になってきているのではないかと

思う。若者が都会に流出していく中で、地方に戻る若者は公務員志望が多い。地方で人を雇用して活かしていくというときには、公務員を減らすというのは方向的に違うのではないかと感じる。そのためには、行政がきちんとした仕事を行っていくことは重要になる。

- ・審議会意見の中に「実施計画最終年度である本年度において一定の成果を求めるとともに」と記載されているが、一定の成果を出そうと思うのであれば、効果の大きいものから優先順位をつけて着手したほうがよいと考える。

- ・遅延又は未着手となっている項目については、本年度において課題の整理をきちんと行い、次の計画でどう取り扱うかを検討して欲しい。

## (2) その他

特になし。

## 9. 配布資料

- ・令和2年度第4回嘉麻市行政経営推進審議会次第
- ・答申書案
- ・第3次行政改革平成31年度実施状況に関する意見（資料2）